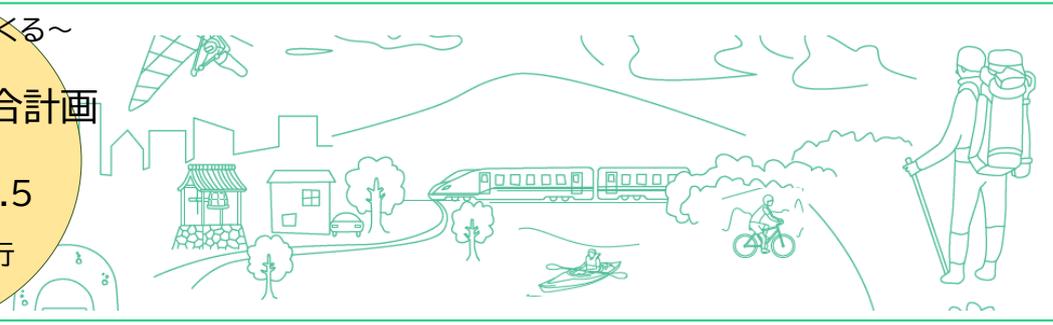


～これからの飯山をつくる～

飯山市第6次総合計画

かわら版 vol.5

令和4年6月 発行
事業戦略室



市民アイデア会議 飯山市の10年後の将来像を検討

令和4年5月25日に第2回目の市民アイデア会議を開催しました。

今回は、庁内アイデア会議と合同で、3グループに分かれて将来都市像について検討を行いました。なお、今回は市役所以外の場所「寺町公園ふれあい館（4月からレンタルスペースとして運用。場所：愛宕町）」で開催しました。

※かわら版の題名「(仮称)飯山市第6次総合計画」は、第1回会議において、これまでの計画の名称を引き継ぐことになりましたので「(仮称)」は取りました。

～ワークショップ～

将来都市像の検討はワークショップ形式で行い、事前に記載していただいた「飯山市ミライ提案シート」を基にお互いに意見を出し合いながらグループごとに提案していただきます。

まずは、各委員の目線から、飯山市の“いいところ”と“もっとよくしたいところ”を挙げていただき、“飯山市の10年後のミライの姿”を導き出します。

飯山市 ミライ 提案シート	
飯山市の“いいところ”は？	飯山市の10年後の“ミライ”の姿 (将来都市像イメージ)
飯山市の“もっと良くしたいところ”は？	



自分の意見をふせんに書いて、説明しながら模造紙に貼って・・・、他の委員の意見と同じものをグルーピングして・・・

飯山にはこんないいところがあるよね、あんなことが必要だよね・・・など新たな意見も出てきます。

このような作業を繰り返して、10年後のミライの姿が見えてきました。 【裏面もあります】

～グループごとの発表～

グループで検討した将来都市像“飯山市の10年後のミライの姿”を発表いただきました。

ここでは、ふせんの内容を一部紹介します。



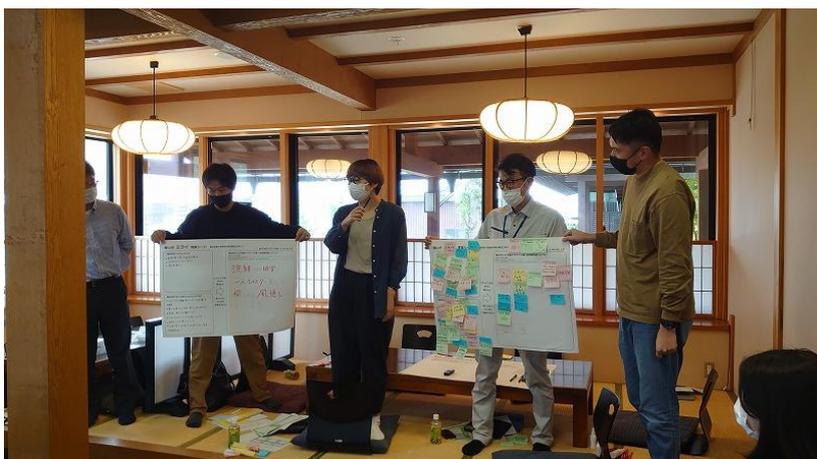
ふせんの内容を一部紹介

- ・前例がないことにチャレンジ・挑戦する飯山市
- ・安心して産み育てられるまち
- ・持続可能な里山づくり 千年万年続く里山
- ・雪国で暮らしていくサポート体制
- ・災害に強い住民同士の助けあいの仕組み
- ・住民から自信を持って発信



ふせんの内容を一部紹介

- ・自然と市民がバランスよく調和し、共生する持続可能な環境に配慮
- ・飯山での生活をそれぞれのステージで楽しみ、活躍する
- ・多様性を享受し、様々な交流を生み出すまち
- ・雪国なのに暮らしやすい
- ・未来の飯山を中心となる子どもたちを育てるまち
- ・100年後のための準備



ふせんの内容を一部紹介

- ・住みたいまちから住み続けたいまちへ
- ・若い人がやりがいを持って生活できる
- ・一人ひとりがやりがいを持って、風通しのよさを感じられる洗練された田舎
- ・子育てが楽しいと思える受け皿がたくさんある(公園、施設、サークル)

次回の会議は、ワークショップの結果を基に、将来都市像と基本目標を具体的に検討します。

【編集後記】

それぞれの立場や生活スタイルが異なる委員によるワークショップ、大変盛り上がりました。様々な意見が飛び交う中でも「飯山を良くしたい！」という共通の想いが伝わりました。その状況を見ていた事務局の私も、委員それぞれの目線からの提案などとても勉強になりました。 事業戦略室